

## drink technology India 2018

### ファイナルレポート

世界飲料・液状食品技術見本市

2018年10月24日～26日

インド / ムンバイ

2018年11月5日

## drink technology India 2018

インドにおける飲料および液体食品産業の重要イベントとしての地位を強調

### Summary

- 出展社数と展示面積が増加
- インド市場を推進する見本市の強い影響力
- 拡大した併催プログラムは大成功



### Facts & Data

会期	2018年10月24日(水)～26日(金) 10時～18時 ※最終日のみ17時まで
会場	インド・ムンバイ ボンベイエキシビジョンセンター
主催	Messe Muenchen India Pvt. Ltd. - メッセ・ミュンヘン・インド
後援	VDMA - ドイツ機械工業連盟 食品加工・包装機械工業会
併催	Indiapack / pacprocess、food pex India (主催:メッセ・デュッセルドルフ)
規模	16,500 m <sup>2</sup> (2017年デリー:11,000 m <sup>2</sup> )
出展企業	343社 (indiapack、pacprocess、food pex India の出展企業を含む) (2017年デリー:212社)
来場者総数	- 人 (2017年デリー:9,699人)
主な出展品	ビール・ワイン・蒸留酒・ソフトドリンク(乳飲料・清涼飲料)・液状食品製造加工機械・プラント、醸造・充填・衛生技術、製造加工自動化・制御・IT技術、原材料・フレーバー・添加剤、飲料容器洗浄・密閉・ラベル・識別技術・機械、プラスチック容器製造機械・原料、各種容器・包材、保管・貯蔵、物流搬送技術、リサイクル、水・廃水処理、エネルギーシステム、レストラン・ケータリング向け機器、ラボ技術、研究、各種サービス、業界団体・媒体 など
初回開催	2007年
専用URL	<a href="http://www.drinktechnology-india.com">www.drinktechnology-india.com</a> (英語)

インドの飲料業界にとっての最重要イベントが成功を収める：メッセ・ミュンヘンが主催する drink technology India (dti) とメッセ・デュッセルドルフが主催する indiapack、pacprocess、food pex India からなる見本市の提携は、より多い出展社数を記録し、より広い展示スペースを占有して開催された。来場者数も、依然として非常に高いレベルを維持している。見本市の更なる成長は、高い成長率が更に上昇すると予想されるインドの飲料・液体食品市場のダイナミックな発展を反映している。

見本市の成功について、メッセ・ミュンヘンのビジネス部門責任者、ゲオルグ・モラーはこのように話した。「数字を見れば自ずと成長が分かる。dti で製品とソリューションを発表した出展社は、17 か国からの 201 社にのぼる。今回の使用総面積は、ムンバイで行われた前回のイベントよりも約 23% 多かった」



メッセ・ミュンヘン・インドの CEO であるブリンダー・シンは前回に続く成長を喜び、「インド市場における dti の重要性を示している」と話した。indiapack、pacprocess、food pex India と合わせて、343 社の出展企業が 10 月 24 日から 26 日までの間に 16,500 m<sup>2</sup> のスペースに製品を展示した。モラーは、特に提携パートナーであるメッセ・デュッセルドルフとの非常に専門的な協力関係について指摘した。「見本市の共同開催によって大きな利益を得るのは、主催する私たちだけではない。結果的に、来場者も、飲料と包装産業におけるあらゆる分野の包括的な概観をつかむことができる」

来場者はこの恩恵を広く利用した。例えば、KHS Filling & Packaging Worldwide 副社長の Partho Ghosh 氏は、次のように述べている。「今年は来場者と話す機会がたくさんあり、新しいリードもたくさん獲得した。インドの飲料業界は、業界の発展を大きく前進させる革新を模索しているところだ」

また、VDMA 食品加工包装機械協会の Richard Clemens 代表取締役は、dti が業界にとって重要な原動力になっていると話す。同氏は、「飲料・液体食品の製造、加工、包装用機械を製造している企業にとって、インドはアジアにおける主要な販売市場である」と述べた。市場の今後の見通しは一貫して好調だ。その過程で、dti の担う重要な役割はますます拡大していくだろう」

### トレーニングとネットワーキングの強化：これまで以上に幅広い併催プログラム

dti の併催プログラムは来場者に大好評で、3 日間で多くの参加者を集めた。ラウンドテーブルトーク（座談会）の 2 日目は、ビール、ワイン、スピリッツを中心に展開された。VDMA によると、アルコール飲料販売国トップ 10 のうち、インドは 9 位にランクインしているという。ビールはインドで最も売れているアルコール飲料だ。専門家は、人々の所得が増えれば増えるほど、高品質のビール、ワイン、スピリッツへの需要も増えるということにおおむね同意している。



来場者たちは、新しい place2beer にてインドビールのバリエーションを試すことができた。このプラットフォームの目的は、ビールの試飲にとどまらず、何よりもビールの小・中規模醸造所、工場、および販売店の代表者間におけるネットワーキングと知識の共有を促すことだ。クラフトビールセミナーでは、現場の専門家たちが、小規模ビール醸造所がビール醸造に与える影響や、クラフトビール業界を左右するトレンドはどのようなものかについて、デモンストレーションを行った。ベルギー、Castle Malting の醸造責任者で、セミナー講演者の Bruno Bonacchelli 氏は、「インドのクラフトビール市場の技術基準の高さと、最新の方法や技術を採用する

スピードに感銘を受けた」と熱く語った。ほかにも、Brewbot Mumbai、Gateway Brewing Mumbai、White Owlの代表者による講演が行われた。

バイヤー・セラー・ミーティングでは、新しい取引関係のネットワーク化と開始に焦点が当てられた。出展企業と潜在顧客の間では約 430 のディスカッションが行われ、このコンセプトの人気を浮き彫りにした。出展企業との新たな取引関係を作るべく見本市に参加した顧客には、Bohemian Beer、Good Drop Wine Cellars、Hindustan Coca Cola、Jyanti Beverages、Parle Agro などが含まれている。

ムンバイで開催された dti の併催プログラムには、インド石油技術者協会 (OTAI) とインド食品安全基準局 (FSSAI) のセミナーが新たに加わった。OTAI セミナーでは、インド市場における油脂の重要性の高まり、そして、特に食用油の包装にまつわる課題について取り上げた。FSSAI セミナーでは、インドの飲料に関する規制および規制枠組みについての見通しが示された。



併催プログラムの全項目が来場者に非常に好評で、フォーラムの議席は常に満杯だった。このような併催プログラムからも、dti がインドの飲料・液体食品産業を牽引し、刺激を与える存在であることが分かる。

#### **dti、indiapack、pacproces、food pex India**

drink technology India は、メッセ・デュッセルドルフ主催の indiapack、pacprocess、food pex India と共同で開催されている。この 4 つの見本市が組み合わせられることで、飲料技術、乳製品および液体食品のトピックス、具体的には、関連する包装産業 (drink technology India)、包装とその関連プロセス (pacprocess India)、包装材料と包装補助材、並びにそれらの製造用機械と技術 (indiapack)、そして、食品・菓子の加工・包装 (food pex India) の全てを同じ建物内で見ることができる。このような展示は、この地域では他に類を見ない。

次回のインド・ムンバイでの dti は 2020 年 12 月 9 日から 11 日にかけて開催される。また、2019 年 2 月 28 日から 3 月 2 日にかけて、初のバンガロール開催が予定されている。

見本市提携の一環として、同イベントは来年 12 月 5 日から 7 日にかけて、インド・ニューデリーにて再度開催される。

詳細は [www.drinktechnology-india.com](http://www.drinktechnology-india.com) まで。

#### **資料請求、出展申込み、各種お問い合わせ先:**

**メッセ・ミュンヘン 日本代表部**

株式会社メッセ・ミュンヘン・ジャパン

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-20-3 ノアーズアーク虎ノ門 5 階

Tel.: 03-6402-4583 Fax: 03-6402-4584 E-mail: [info@messe-muenchen.jp](mailto:info@messe-muenchen.jp)

URL: [www.messe-muenchen.jp](http://www.messe-muenchen.jp) (日本語) [www.messe-muenchen.de](http://www.messe-muenchen.de) (英語 / ドイツ語)